

トコジラミに注意しましょう

トコジラミは主に夜間に活動して人を吸血し、狭い隙間に潜んで見つけにくいいため、宿泊客が持ち込むことも考えられます。また、繁殖力が高いため、部屋から部屋へ急速に広がってしまいます。

最近では、殺虫剤に抵抗性を示すトコジラミも報告されており、素人では的確な駆除が難しいことに加え、生息範囲を拡大させてしまうこともあります。観光都市である那覇市には、観光客など多くの人々が訪れており、今後、発生が増える心配もあります。発生に備えて、対策などを確認しておきましょう。

トコジラミとは

- 成虫は体長5～8mm
- 羽はなく、扁平・楕円形で赤褐色
- エサはヒトや動物の血液のみで、主に夜間（寝ているとき）に活動し、肌が露出しているところを吸血します
- オスメスの成虫、幼虫ともに吸血し生活しています
- 褐色の糞（血糞）をします



トコジラミによる被害

吸血によるかゆみ

- 吸血される際に体内に唾液が注入され、それに対するアレルギー反応により皮疹やかゆみが生じます
- 主に夜間の寝ているあいだに手足や首などから吸血され、繰り返し吸血されると激しいかゆみや発赤が生じます

経済的被害

- 発生してしまったトコジラミは、駆除がとても難しく、時間と費用がかかって経済的な負担も大きくなります

風評被害

- 旅館やホテル、公衆浴場などの営業施設では風評被害が生じるおそれもあります

トコジラミの住み場所

トコジラミの見つけ方

- 夜行性の昆虫で、昼間は暗くて狭いすき間に潜んでいます
- トコジラミの潜み場所の周辺には、血糞（黒っぽいシミ）や卵、脱皮殻、死骸が見られることがあります

潜伏場所の例

- ベッド木枠、マットレスの縫い目
- 床と壁、壁と柱、壁と天井のすき間
- たたみの縁、カーペットの縁
- 家具の裏側や内側



トコジラミを発見したら

早期に発見し駆除する

トコジラミを発見した場合は、**専門業者に駆除を依頼することをおすすめします。**
殺虫剤に抵抗性を持つトコジラミが報告されており、個人で駆除することが難しくなっています。

できる限り早期に発見・防除することが重要です。



施設で取り組める初期対応の例

- 隅々まで掃除機を使用するなど、きめ細かな清掃を行う。
- すき間を埋め、ひそむことができる場所をなくす。
- トコジラミが発見された部屋のものは、駆除が終わるまで別の部屋に持ち込まないようにする。
- 寝具類、カーテンなどは、熱湯、スチーム、乾燥機などの使用による熱処理を行う。
- くん煙剤は、使用しないようにする（くん煙剤を使用すると、トコジラミが隣の部屋に逃げ込んで、被害が拡大することがあります）。

<トコジラミの駆除に関する相談先>

沖縄県ペストコントロール協会※ TEL：098-868-2289

※ねずみ・衛生害虫防除に関する任意団体です

那覇市保健所 生活衛生課 TEL：098-853-7963